

会議録（１）

会議の名称	令和５年度第１回飯能市男女共同参画審議会
開催日時	令和５年６月１６日（金） 開会 午後２時００分 閉会 午後３時５０分
開催場所	市役所本庁舎別館２階 会議室１
議長氏名	加藤 巳佐子
出席委員	加藤 巳佐子、岩崎 雅美、住田 律夫、宮川 邦夫、小野 麻理、重永 富子
欠席委員	浅見 友章、野村 弘人、山影 祥子、若林 佳子
説明者の職氏名	市民生活部参事兼市民協働推進課長 大橋 はるか 男女共同参画・国際担当 主査 関根 幸代
傍聴者の数	なし
会議次第	別紙のとおり
配布資料	別紙のとおり
事務局職員職氏名	市民生活部長 細田 幸二 市民生活部参事兼市民協働推進課長 大橋 はるか 男女共同参画・国際担当 主査 関根 幸代 男女共同参画・国際担当 主事 林 優児 男女共同参画・国際担当 主事 佐藤 まいり

会議録（２）

議事録の概要（経過）・決定事項

- (1) 第5次飯能市男女共同参画プラン令和4年度事業実績について事務局から説明をした後、審議を行った。
- (2) 第6次飯能市男女共同参画プラン令和5年度事業計画について事務局から説明をした後、審議を行った。

会議録（3）

発 言 者	発 言 内 容
参事	<p>本日は、令和5年度第1回飯能市男女共同参画審議会にお忙しいところ御出席を賜り、誠にありがとうございます。</p> <p>私は本日の進行を務めさせていただきます市民生活部市民協働推進課長の大橋と申します。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>開会前に今年度新たに委員になられました方に委嘱状の交付をさせていただきます。</p>
部長	<p><委嘱状交付></p>
参事	<p>本日の会議でございますが、1時間30分を予定しております。3時30分に閉会と考えておりますので、皆様の御協力をお願いいたします。</p> <p>それでは、ただいまから、令和5年度第1回飯能市男女共同参画審議会を開会します。開会にあたり、加藤会長からご挨拶を頂戴したいと存じます。</p>
会長	<p><加藤会長挨拶></p>
参事	<p>続きまして、市民生活部細田部長よりご挨拶を申し上げます。</p>
部長	<p><部長挨拶></p>
参事	<p>続きまして、今年度第1回目の開催となりますので次第4の自己紹介をお願いしたいと存じます。委員の皆様から名簿の順番に自己紹介をお願いいたします。それでは、加藤会長からお願いいたします。</p>
委員	<p><委員自己紹介></p>
参事	<p>続きまして、今年度、男女共同参画を担当する職員を紹介させていただきます。</p> <p style="text-align: center;"><事務局自己紹介></p>

参事	<p>それでは、進行に戻ります。本日の会議は飯能市審議会の会議の公開に関する指針に基づき、原則公開とさせていただきます。本日は傍聴はありません。</p>
参事	<p>それでは、議事に入ります前に資料の確認をさせていただきます。</p>
事務局	<p><資料確認></p>
参事	<p>それでは、次第5の議事に入らせていただきます。議事の進行につきましては、飯能市男女共同参画推進条例第19条に基づき、会長にお願い申し上げます。加藤会長よろしくお願ひいたします。</p>
会長	<p>それでは、ただいまより議長を務めさせていただきます。よろしくお願ひします。</p> <p>議事(1)第5次飯能市男女共同参画プラン令和4年度事業実績について審議いたします。事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p><資料に基づき、事務局が説明></p>
会長	<p>ただいま、事務局から説明がありましたが、御意見、御質問はありますでしょうか。</p>
職務代理	<p>まず、女性の登用に関して、資料1追加資料、番号6、7そして番号8の市職員の管理職に占める女性の割合です。こちらのことに関して、具体的に資料1プラン事業計画及び事業実績で言いますと、12ページ、番号でいうと13、事業実績として令和3年度の23.3%を上回り、23.9%となった。最終的に目標値である30%に届かず、未達成となったということで、目標値に関しては高すぎたかなというのがあるが、微増ですが、伸びている。達成状況及び課題のところですが、効果的な周知方法について検討する必要があると書かれているのですが、全体を通じてなのですが、担当所管の課として「検討する」という言葉が出てくるのですが、改善策が出てこないの、それが繰り返されているのは、もったいないと思います。たとえば、女性の管理職の登用です。女性の管理職の割合が高まっているところは、品川区、横浜市、仙台市。品川区は「女性活躍推進宣言」、横浜市は「女性管理職推進計画」、仙台市は「女性キャリア形成推進条例」というものがあります。「検討する」という表記</p>

	<p>ではなく、具体的なアクションがないと次年度の実績として見えてこないで全体を通じて改善をした方がいいと思います。第6次の課題にも反映されるだろうと思います。</p> <p>資料2、12番「認可保育所の待機児童数」は目標が達成され、待機児童が0というのは非常に素晴らしいと思います。目標が達成されているものに関しては数や「研修を何回実施した」とかではなく、今度は質を上げるために何をしていくのかということが重要であり、そのために認可保育所のリサーチをすることや利用している保護者の方がどういった課題を感じているのかといったことを所管課が吸い上げて、その改善のための働きかけをしていくとさらに素晴らしい施策が取り組まれ、市民のニーズに即した行政になるとと思います。</p>
事務局	<p>前回の4次のプランでは各取組について各課が達成度を決めていましたが、第5次のプランではそれをどう評価をしていくかが難しい状況でした。お話があったとおり、事業実績の中で当課からそういった示し方を促せれば、測れたのかと思い、反省点となっています。貴重なご意見、ありがとうございました。</p>
会長	<p>今の話に関連して、女性の任用数の話を初めてお聞きしました。実行できるための根拠となるのが男女共同参画のこの計画だとあまりにも広すぎるが、条例等を作るのは手続きが大変だと思うので庁内で合意を得るのを手立てとしてなにかできたらいいと思いました。</p> <p>また、なぜ、女性が管理職になれないのでしょうか。</p>
参事	<p>女性の管理職の登用につきましては、女性だからではなく、能力と適正等を見て、管理職になっていくことが必要だと考えています。私見も含まれてしまいますが、これまでに女性の管理職が少ない理由としてはロールモデルが少ないということがあると考えます。これまで男性の管理職が多い中で女性が管理職になっていくために、子育てなどいろいろなライフステージを経ながら働きながら管理職になるようなケースが増え、自分にもできる、やってみたいと思えるような機会の創出が必要だと感じます。職員課とも数値を上げるために、第6次プランの事業計画の中には管理職を見据えた職員に向けての研修が取組として入っています。</p> <p>ワーク・ライフ・バランスの関係等で今まで挑戦できなかったということがあると捉えております。</p>

議長	<p>ロールモデルや職員の中で女性がどれくらいの比率で占めているかも関連するだろうと思います。自分が頑張れたのは、「あの人みたいになりたい」という女性管理職がいるという環境に幸いいることができたこと。だから子育ても大変だったけれど仕事をやりくりしながら過ごしてきたことを思い出しました。力のある人が埋もれてしまうともったいないので、ぜひ、みなさんがロールモデルになっていただいて、新規入職者を育てていただけるといいと思います。</p>
委員	<p>埼玉県にも管理職を務めた優秀な女性職員がおりましたので、そういう方の話を聞く機会を設けたり、先進的な団体とオンラインで研修を行うのも良いのではないのでしょうか。</p>
参事	<p>先進的な市町村の取組等についてはオンラインでやり取り等もできるようになりましたので情報収集などもしていきたいと思います。また、女性活躍については働き方、ワーク・ライフ・バランスと結び付いていることだと思いますのでそちらの視点からも取り組んでいけたらと思います。</p>
委員	<p>事業計画や目標について、やらないといけないことはたくさんあると思いますが、今年はこれを重点的にやると絞って、それに対して徹底的な成果を上げると市民にとってより分かりやすくなるのではないかと思います。最近ではDVも多く、内容も複雑化しているので、相談のハードルを下げる等、何かを特化して、飯能市が他の地域と比べてここが強いところを掲げてほしいと思います。3つぐらい強力にアピールができることを計画して、結果を出してほしいと思います。</p>
事務局	<p>第5次プランの達成目標の指標はとて多かったため、審議会の中でも審議をいただいて第6次プランでは絞らせていただいております。また、全体的な取組もやらないといけない中で、その表し方が上手くできていない状況です。昨年度から庁内推進委員に広報情報課の職員に入ってもらい、講演会などの周知や広報の出し方も担当課から効果的な方法をご教示いただいております。また、どこに重点的に置くのかについては、プランの5年間の中で表し方や強化したい項目を再度担当課の中でも考えていきたいと思っています。</p>
議長	<p>他に御意見、御質問はありますか。</p>

議長	<p>議事（１）については承認していただけますでしょうか。</p> <p><異議なし></p> <p>続きまして、議事（２）「第６次飯能市男女共同参画プラン令和５年度事業計画について」審議いたします。</p> <p>事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p><事務局説明></p>
議長	<p>ただいま、事務局から説明がありましたが、御意見、御質問はありませんでしょうか。</p>
委員	<p>デートDVについて、子どもを教えていて、中学生も来るのですが、携帯からの情報による噂や信憑性の低いものを信じている子が多くいます。「お母さんに相談してみたか」と聞くと「お母さんに聞いても分からない」と答える子がいました。広報６月号のアンサンブルのワーク・ライフ・バランスに関する漫画のように、中学生や高校生にデートDVを教えるには漫画やアニメなどにして情報発信をしていただくと頭に入りやすくいいと思います。驚くようなことを信じていたり、判断のミスもあるので怖いと思っています。その子たちが大人になったときにどういった考えをして社会を作るのかが心配にもなります。彼氏の言ったことは全部信じる子や、親も倫理観に欠けている人もいると感じておりますので学校でこういった漫画のようなもので啓発するのは効果的であると思います。</p>
事務局	<p>昨年度市内の高校でパープルリボンキャンペーンを実施させていただいて、図書館の先生に御協力をいただき、当課がパープルリボンの周知・啓発を行ったり、先生が高校生に合った図書の選書をしてくださったりしました。また、DVの授業をしたいけれども、なかなかきっかけがなかった学校が実際にキャンペーンに合わせて授業をしたというお話もいただきました。互いにとって良い事業になったのではないかと思います。SNSの使い方に関しては親でも把握しきれない現状であると思います。</p>
委員	<p>小学生もテレビではなく、帰るとYouTubeを寝るまで見る子も多く、</p>

事務局	<p>視力も悪くなるし非常に良くない風潮があります。</p> <p>SNS の利用については DV 避難時に大変苦慮しています。お子さんが通信をできるものを使っているとせっかく避難しても前の友達と繋がってしまうことがあります。ドライブレコーダーについても、避難先の準備をしているときに DV 加害者である夫に場所がばれてしまうといったことがあり、先手を打っているいろいろなことに気を付けています。デート DV の啓発については昨年と今年は高校生を中心に考えていますが、さらにその下の中学生や小学生にどう伝えていくかということを考えております。</p>
委員	<p>飯能市だけで取り組んでいくのには大変難しい問題であると思いますので埼玉県女性キャリアセンターや県、近隣市など同じ悩みを持つ団体とネットワークを利用し、共有していくと良いと思います。</p>
事務局	<p>埼玉県女性キャリアセンターとの合同説明会については飯能市ではあまり実施したことのない事業です。他市の実績を見ても参加者を集めることが難しい事業であることが分かっていたので、昨年度からの繋がりにから日高市であれば勤務先や対象が範囲内ということもあり、担当の方にお声掛けをして一緒に周知をして参加人数を集めていくことになりました。産業振興課で10月頃に実施する大規模の合同説明会にも繋がっていきたいと考えています。</p>
委員	<p>埼玉県女性キャリアセンターもそうですがどれも東側で西埼玉にある飯能市では働きたい方が情報を得ようと思っても難しい状況があります。具体的には、小さくてもいいので飯能市で女性のためのキャリア窓口をつくることやいろいろな課が補助金等を使って、SDGs、パートナーシップの時代ですので民間企業と組んで情報発信や事業を実施できたらいいと思います。小さな事業体で就労や就職という形ではなく、在宅ワーカーのような形で短時間でもお店を手伝ってほしいなどの需要がとてもあるということを経験の方からお聞きしましたので市内でのマッチングができればいいと思います。需要はあるけれどもマッチングができていないのでそれを解決するために民間と組んで実施できたらいいと思います。</p>
委員	<p>情報がどこに行ったら見られるか示す必要があると思います。子育て</p>

事務局	<p>中で職を探したいと思っても、遠い地域が多く難しい現状があります。そのような人たちが集まる場所を想定し、情報を提供することが大事であると思います。</p> <p>企業説明会については初めての取組でございまして、次の取組に繋がれば良いと考えております。このことによって埼玉県の女性キャリアセンターと繋がりそういったところから関連機関との繋がりも作っていただければと思います。本市だけでは限界があるので、ダイア構成市である所沢市・狭山市・入間市・日高市とも一緒にできるのではないかと考えております。情報の収集と発信については、課題と受け止めております。1つの窓口でポータルサイトのように情報が発信ができ、必要な人と結び付けていくような試みができたらと考えております。そのやり方につきましては、産業振興課や商工会議所等に調査をさせていただき、今後の取組につなげていきたいと思っております。</p>
議長	<p>ありがとうございました。他にありませんでしょうか。</p>
委員	<p>広報について、飯能市がどういった自治体かということイメージできるようなシティプロモーションをすることがいいと思います。分かりやすいものは「女性が活躍できるまち」という出し方で、人口減少社会で若年の女性が他の市に流入してしまうのは自治体の存続に関わるのでそれをどうカバーするのが1つ大きな目標だと思います。そういった意味では、先ほどから出ている女性の登用、参事からお話があったように採用や昇進に関して行政として積極的な制度を作るということ。また、ワーク・ライフ・バランスの問題で仕事と家庭を両立しやすい家庭づくりは民間に比べると行政の方ができると思います。飯能市として女性の管理職の登用割合が埼玉県内で1番ということを出していただきたいです。そのために何が必要かということ、他の自治体が行っているようなフレックスタイム、リモートワークや時短勤務等をどんどん導入して行政として女性をバックアップしているので飯能市は女性の管理職が多いですということを出していただきたいです。かつ、子育て支援に関してはかなり整備されてきていますが、ただそれほどこの自治体でもやっていることなので、先ほど事務局から説明があったように飯能市ではひとり親の養育費の公正証書の作成や養育費保証契約の補助金があります。これはひとり親であっても飯能市なら安心して暮らすことができるということを先駆的にやっていることで全体的なメッセージと</p>

	<p>しては女性が活躍できる。かつ、ひとり親でも飯能なら安心して暮らせるということを強く打ち出していったら良いと思っています。1つ課題なのは、DVの問題が増えているということです。具体的な取組例としてパープルリボンキャンペーンや今、問題になっている方への対応とこれから成長する中高生に対して啓発をしていくことが挙げられます。高校の図書館で司書さんがカフェ的なことをやっている例を聞いたことがあります。保健室にメンタルに問題がある子が登校するのは当たり前でその予防的に図書館でざっくばらんに気軽に話せる。かつ、そこでパープルリボンキャンペーンができるといいと思います。DV被害の問題は中高生には重いので DV の問題を含めて恋愛、デートに関して彼らの理解や思いを發表してもらい取組案としては、クリエイティブアートコンテストが行われていて、絵画、写真・小説で自分の思いを表現し、その一角にデートDVのチラシを置くと自然に触れられると思います。子育て、DVに関して手厚くする、それから、キャリア支援に関しては、自分が働くというイメージが持てるように中学生がやっている職場体験を親子でやって、お母さんの実感と子どもがどう感じたかというすり合わせをして将来の職業選択の1つとしてすることや飯能市の企業に協力をしてもらい教育と組み合わせて起業や就労のハードルを低くしていくことができると思います。文化・教育・健康面では飯能市には自然豊かなものがあるので、健康面ではウォーキング、料理、働く女性のための講座、ピラティスやヨガなど魅力的なものを連続講座で実施し、それで終わるのではなく、各公民館でやっている市民活動と繋げてみるなど、この自治体なら豊かな生活ができるということを具体的なイメージを持って出来たらいいと思います。飯能市役所では職員がすれ違うと挨拶をしてくれて、それだけで良い自治体だと感じるので、そういうところを伸ばし、良い素材や資源があるのでそれを上手くつなぎ、見せ方を工夫すればもっともっと良くなると思います。最後に認知症サポーター養成講座参加者の目標が600人ですが、地域包括支援センターから小、中学校を拠点にケアマネージャーが行けばすぐに達成できると思います。自治体として子どもたちから認知症サポーターを持っているという打ち出し方をしていけば良いと思います。</p>
議長	<p>多領域に渡る御意見をいただきました。事務局からお願いいたします。</p>
事務局	<p>絵が描けるような提案で楽しくなるような取組だと感じました。ひと</p>

	<p>つひとつ網羅できるか難しいかもしれませんがデート DV に関しては昨年度も高校で実施させていただいております。また、実際に図書館の運営をカフェのようにやっている先生もいらして、私たちも一緒に参加させてもらいました。昨年度は高校の写真部の方にパープルリボンキャンペーンにちなんで紫色をテーマにした写真を撮ることを依頼し、一人ひとりではなく写真部または、学校で一つの作品にして伝えたいことを書いてもらったものを DV 防止週間展で展示しました。昨年度は初めてだったので広く周知することができず、今年度は図書館とも一緒にできるように考えております。市立図書館と市内の高校が連携しているのでたとえば、DV や紫をテーマにおすすめ本を高校生から募集すれば、必ずしも私たちが思っている本が出てくるとは限らないのが面白くなると思っています。きっかけが高校や図書館にあって進めさせていただいておりますが、まだ至らない点、就労支援であったり手が届いていない事業等、地区行政センターも同じ課ですので講座など、やっているけれども周知されていないこともあると思うので確認をしながら進めていきたいと思っております。</p>
委員	<p>多様な働き方実践企業に飯能市は15社が認定されています。このような企業に職業体験事業の協力を得ることができると思います。多様な働き方実践企業は「男女が共に生き生きと働ける環境づくり」を定めていますので実際に体験することは大きな経験になると思います。</p>
事務局	<p>埼玉県の多様な働き方実践企業の数が減っている中でメリットを感じられないということに関しては産業振興課とも話し合いながら、今お話にあったような形で取組を一生懸命やっている企業が体験という形で市のメリットにつながるような事業が展開できると良いと思います。参考にさせていただいて、産業振興課と進めさせていただきたいと思っております。</p>
議長	<p>DV の取組について高校生をターゲットとしていますが、高校では遅いような気がします。小学校高学年から中学校でも DV という言葉を出さか出さないかは別として、義務教育とコラボするのは難しいと思いますが、いじめに関連付けるとかなんらかの自分を大切に相手も大切にすることが身についていくということで DV という言葉がでてきたときにその成果を発揮するのではないかと思います。</p>

委員	<p>小学生を教えています、親からの虐待を受けている子、登校拒否、ヤングケアラーも多くいます。当人は意識していませんが、家に帰ってこれをやらないといけないという子もいます。デート DV の啓発に関し紫リボンだと小学生だと紫の絵を描くとか、有名な人に紫の絵を描いてもらって展示会を開いたりすると、後から振り返ったときに小学生のときに DV ではなくても「紫リボンのあったな」「あれはああいうことだったんだ」というように頭の隅に残るようにしたりアートとの兼ね合いをすると見に来られる方もいると思いますし、いい事業になると思います。</p>
事務局	<p>デート DV の啓発に関しては、庁内推進委員の中にも学校教育課の先生もいらっしゃって、庁内推進会議の中でも昨年度は高校生を対象に実施していましたが今年度は中学生にも広めていきたいということでお話をさせていただいたところです。コロナ前には中学校でもデート DV に関する授業をやっていて、今後こういった形で効果的にできるかについては学校教育課の先生ともお話をさせていただいて進めたいと思います。</p>
委員	<p>姉妹都市のブレア市とも DV に関する情報の共有やディスカッションをしたらいかがですか。</p>
事務局	<p>ブレア市との交流も今年で40周年となりますが、今の交流は中学生と高校生が行き来をして教育や文化的な交流を中心にしています。DV に関する情報の情報交換というのはすぐには難しいと思うのですが、日本だけではなく、海外の事例に目を向けることも参考にさせていただきます。</p>
議長	<p>他に御意見、御質問はありますか。 <意見・質問なし></p>
議長	<p>ないようですので議事（2）については終了とさせていただきます。 それでは議事について全て終了しましたので議長の職を解かせていただきます。ありがとうございました。</p>
参事	<p>加藤会長ありがとうございました。</p>

<p>事務局</p> <p>参事</p>	<p>続きまして、次第6 その他 になりますが、事務局からの連絡をさせていただきます。</p> <p><事務局から報告></p> <p>事務局からは以上となります。長時間に渡り、ご審議いただきましてありがとうございました。</p> <p>以上を持ちまして、令和5年度 第1回飯能市男女共同参画審議会を閉会とさせていただきます。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p><閉会></p>
<p>議事のでん末・概要を記載し、その相違ないことを証するためここに署名します。</p> <p>令和 年 月 日</p> <p>議長の署名 _____</p>	